

ふみチャンネル

第33号

2期目を終え、更なるステップアップを！！

お陰様で8年間努めさせていただきました。残すは9月議会



小河 文人 議員

2013年10月甲賀市議会議員選挙に当選させていただき、はや8年の月日が経とうとしています。この間、『ただしいことをまっすぐに』のスローガンのもと、地域課題の解決や条例制定等々に結果を残す事と、その使命感を常に持ち続ける議員として、活動をさせていただきました。最初にお約束いたしました、身近な議員でありたいと言うおmoiから、年4回の定例会後の議会報告は「ふみチャンネル」として、今も継続中です。手づくり言え、誤字脱字など校正で多々失敗もありましたが、議会の現状、私の考えも多くの人にお分かりいただいたことと思います。

また、1期目3年目では、市政刷新・新市長誕生へと舵を切ることになった時も、支援者の皆さんにはご理解いただきましたこと、心から感謝するとともに、そして想いが叶ったことも、皆様方の大きな後押しが、2期目への自信へと繋がったと考えています。

岩永市政も昨年2期目のスタートを切り、市政も落ち着きを取り戻し、順調に進んできています。しかし、新型コロナウイルス感染症による社会の変化が著しく、今までの生活様式や価値観が変わりつ

つあります。真の豊かさとはなにか。今までの右肩上がりの経済成長も見込めなくなっている現状を、さらに人口減少による生産力低下が懸念されています。ワクチン接種が進み、コロナに打ち勝つ日が微かに見えてきているようにも思いますが、その先はまだまだ見過ごせない現状です。脱コロナ社会をどう生きていくか。次の4年間は、今までの理論や考えが大きく転換を求められるのではないのでしょうか。

4年前には、ウイルス感染など予測もしていなかった現状でした。しかし私は、人口減少と言う問題を常に政策の中心においていました。その4年前の、「美しい甲賀」を目指してを再度スローガンにさせていただきました。

今後のコミットメント（約束）として
甲賀のまち・ひとを元気に

- 「美しいまちの輝き」
- 「美しいひとの輝き」
- 「美しいこころの輝き」

政策提言
については
スマホで



3つの考えのもと、まちづくり・ひとづくりを進めていきたいと考えています。

あと残すところ、9月議会になります。

任期最後まで、皆様のご期待に添えるよう一生懸命頑張らさせていただきます。



2期8年を振り返って・・・皆様からのご質問にお答えします。

振り返れば、あっという間の8年間でした。
1期目最初の所属委員会は産業建設常任委員会、新庁舎・広報両特別委員会にも所属、病院議会にも出向し、出来る限りの知識を得るべく勉強させていただきました。2期目は、総務常任委員長、副議長、議会改革推進委員長を歴任

し、4年間議会運営委員会委員を努め、議会内でも貢献できたと考えています。あくまで自身の評価であり、皆様からの評価はまた別のものであると自認しております。

今後ともご支援お願い申し上げます。

皆さんからの
ご質問にお答えします



具体的な取り組みを検証

スマホから
ふみチャンネルWebへ



問 何故議員を目指したのか

答 合併して9年目に出馬、変革を期待していたが何も変わらなかった。特に市政に閉塞感を感じた。

問 「ただしいことをまっすぐに」とは

答 言葉の通り、何事も誠心誠意進めることである。

問 人との出会いを大切にされているとお聞きしますが

答 まず、出会いがないと積極的に議論をすることはないと考える。もう一つの考えが「一期一会」でもある。

問 政策を実現するためには、

答 目的達成（市民の生活の向上）のために、意見の異なる人とも話し合うこと。

問 2期目で達成できたことは

答 当初の志で疑問を感じていた「閉塞感」がなくなったこと。市民の多くの人たちと、まちの将来を語り合えるようになったこと。

問 美しい甲賀を目指して！についておきかせください

答 ひとの心のなかには、常に美への意識を持ち合わせていると考えている。その大小はそれぞれであるが、心が荒んだ時癒しを求め、草木や花・美術・芸術・旅行等々美しいものを求めところが動いていくものであると思う。新型コロナウイルス感染症において様々な生活様式が一変し、今までの豊かさが変化してきている。しかし、いつになっても「美しい」と言う概念は変わらない。その土壌は甲賀市に持ち合わせていると考えている。

問 窯業試験場の新築・経過について

答 陶芸の森前の陶器店跡地については、初当選（平成25年）から県議を通じ県にも働きかけたができません。また市は目的利用がないと進められない（前市長）と暗礁に乗り上げた。その5年後、県が試験場移転計画を検討。市に移転について、用地交換で両者の負担軽減を考えてをもとに交渉をすることを進言実現した。焼き物産地から試験場を無くしてはならない思いもあった。用地交換で、懸案の神輿道改修（3年度測量予算）307バイパス接続、文教ゾーンとして市立保育園の新築、老朽化校舎の改築等々、本市には多くのメリットがもたらされることになった。



問 議会改革の取り組みについて

答 議会改革にも積極的に取り組んだ。市長に近い存在といえど、議会のチェック機能、また市民からの意見をどう聴取し反映していくか。委員長として、広聴機能強化に取り組み、議長に答申、9月議会から委員会中継、委員会代表質問が開始、広報広聴委員会は条例改正、次期改選時（11月）から設置される予定である。



6月定例議会の結果を報告します。

第3回定例会は6月4日から6月29日まで、25日間の日程で行われました。主な議案は補正予算6,715万7千円の計上と、条例改正6件、報告事項3件、財産貸付、市道認定等6件、

意見書4件、請願2件でした。いずれも可決しました。その他一般質問には21名が登壇され、私も下記の通り、市政に対する質問を3件、前向きな答弁をいただいたところです。詳しくは、議会HPからご覧ください。(文責小河)

1 議案・補正予算・意見書（抜粋）

| | 主な内容 | 説明 | |
|------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------|
| 条例 | 甲賀市手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例の制定 | 農地・ため池・法面崩壊等々災害44カ所 | 可決 |
| 条例 | 甲賀市公文書等の管理に関する条例の制定 | 賛成多数 | 可決 |
| 条例 | 甲賀市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 工場緑地面積を、国の基準に緩和し、工場用地の有効活用を図る | 可決 |
| 補正予算 | 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 | 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行うため、 | 8,835万円 |
| 補正予算 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 予防接種を実施するための経費を追加 | 3億5,800万円 |
| 補正予算 | 伴谷統合認定こども園整備事業 | 事業見直しにより、私立保育園等施設整備等事業補助を減額し、造成工事の設計委託料等を追加 | ▲5億6,441万円 減額 |
| 意見書 | コロナ禍のもとで東京五輪は中止・延期の決断を求める意見書の提出 | 賛成多数 | 否決 |
| 意見書 | 国民投票法改定案の抜本的改正を求める意見書の提出 | 賛成多数 | 否決 |
| 請願 | もしもの原子力災害に備えるため「安定ヨウ素剤」の事前配布と学校等での備蓄 | 厚生文教委員会にて否決、本会議委員長報告で採決同じく | 否決 |

2 一般質問

市の方針を確認、詳しくは議会HPでご視聴ください

1、植樹祭の成功と学校施設の木質化について

Q・植樹祭の開催市として、学校施設の木造校舎、大規模改修には、コンクリートから木質化を積極的に進めるべきでは。また新築校舎を躯体から木造にする考えは

市長・木造施設は調湿性や断熱性に優れ、人や環境にやさしく、空間を演出し、学習環境上の効果も大変大きいと考える。全国植樹祭の本市での開催を契機に地域内の木材利用の好循環を創出するモデルケースとし、教育施設においても国産材を積極的に取り入れていく。

2、国立高専を積極的に誘致してはどうか

Q・県に対して、誘致に向けた働きかけと信楽高校の工業科新設について問う。

市長・県が今年度、懇話会で方針を取りまとめられた。本市はものづくり企業が集積する県下一の製造拠点地域であり、産業界との連携が十分に図れていることが極めて大きなアピールポイントと考えている。産業界が真に必要なとしている人材育成に向けて、高等専門学校の誘致を粘り強く県に要請していく。また、従来から要望を続けている信楽高校存続と、工業科の新設を要請していく。

3、試験場移転について市が積極的に関わらねば

Q・新築工事の進捗及び開設時期は
部長・開設時期につきましては、新施設の完成後、令和4年9月頃までに現在の信楽産業技術試験場から設備や収蔵品等を移転され、早ければ令和4年10月を予定
Q県立産業技術試験場の蓄積された収蔵品について問う。

市長・関係する資料の散逸を防ぐため、試験場から収蔵品の一部を本市に移管したい要請等があった場合は、その引き取りについては前向きに検討していく

あの要望どうなったの？ 現在お伺いしていること

追跡

あの要望どうなったの？ 要望しているのに？
ご不満のお声も聞いております。決して市や県に上
げていないと言うことはありません。地域の皆さんの
切実な願いを大切に、日々積極的に取り組ませて
いただいています。より良いまちづくりは、地域の

皆さんとの協力が不可欠であり、解決
の一步です。まず、おがわ文人にご相談
ください。情報・要望をお待ちしています。

(紙面の関係上、一部のみ掲載。この他にも多くの
ご要望があります。ご了承ください。)

| | 要望団体 | 状況 | 結果 |
|-----------------|------------|------------------------------|----|
| ・市道田代・勅旨線拡幅工事 | 田代区 | 一部予算化され工事設計着手、残りは4年度以降に | ○ |
| ・江田信楽小学校前側溝工事改修 | 江田丸の内町 | 県土木による測量設計予定 | △ |
| ・江田市道舗装工事 | 江田日吉町 | 江田区からの市への要望後着手・現地調査済み | △ |
| ・県道522号拡幅工事 | 畑区 | 県土木による測量・設計予定 | △ |
| ・窯元散策路に観光トイレ | 信楽町観光協会 | 下水工事完了時に散策路内の場所設定 | △ |
| ・散策路カラー舗装化 | 長野区 | 下水道工事復旧にあわせ工事要請 | ▲ |
| ・教育施設の充実・老朽化対策 | 信楽小学校区 | 信楽小・中学校の老朽化による建替を要請・検討中 | ▲ |
| ・公共施設のピアノ修理・調律 | 文化団体 | 陶芸の森ホール、ピアノの調律依頼・3年度予算化秋に・・・ | ○ |
| ・山林土砂採種後の是正措置 | 杉山区・田代区 | 県砂防課他、県議を交え調整中 | ✖ |
| ・市道神輿道の改良工事 | 長野区・江田区 | 測量予算は計上、長野バイパス接続を含め次年度に設計予算 | △ |
| ・農業排水路の改修 | 牧区 | 水路の改修と水利組合との調整 | ✖ |
| ・通学路の安全確保 | 信楽小学校区他多数 | 通学路の安全対策のための看板設置や、グリーンベルトの表示 | ▲ |
| ・大戸川及び支流の浚渫工事 | 長野・朝宮・多羅尾他 | 建設部から県土木へ、県議を交え調整中 | ▲ |
| ・公共駐車場の有料化 | 信楽町観光協会 | 旧信楽庁舎跡地駐車場の有料化 | ▲ |
| ・県道127号通学路安全対策 | 甲南町葛木区 | 新設県道の横断歩道設置と歩行者信号設置 | △ |



○予算化及び解決 △予算化に向け進行中 ▲あと一步 ✖少し難しい

おがわ文人・日々あれこれ活動報告 (4/1~6/30)

facebook

ふみチャンネル

- ・4/5 市長面談ご紹介・ご要望 (甲南町葛木区さま)
- ・4/5 県旅館組合
- ・4/10 岡本太郎展打合せ
- ・4/10 多羅尾区下水の件要望
- ・4/11 ふみチャンネル32号発行
- ・4/14 朝宮茶園視察
- ・4/15 岡本太郎展打合せ
- ・4/15 議会運営委員会
- ・4/17 大戸川ダム予定地視察 整備局と懇談会
- ・4/19 産業建設常任委員会
- ・4/21 臨時議会
- ・4/21 滋賀県調理師会三役会
- ・4/26 全員協議会
- ・4/26 県旅館組合役員会
- ・4/26 水口納税協会常任理事会
- ・5/7 議会運営委員会
- ・5/11 産業建設常任委員会

- ・5/14 信楽高原鉄道慰霊祭
- ・5/16 峰風遠州流家元継承式
- ・5/17 市長面談ご紹介・ご挨拶 (上朝宮生産森林組合さま)
- ・5/19 県調理師会理事会
- ・5/21 甲賀市商工会総代会
- ・5/23 自民党第4選挙支部
- ・5/26 全員協議会
- ・5/28 聖火リレー
- ・5/31 議会運営委員会
- ・6/1 志誠会勉強会
- ・6/1 ワクチン摂取
- ・6/2 試験場長と移転後の協議
- ・6/4 6月定例会開会(6/29まで)
- ・6/4 議会運営委員会
- ・6/8 神輿道整備測量説明
- ・6/9 江田日吉・市道整備現地
- ・6/11 信楽下水道進捗説明
- ・6/14 本会議・議案質疑

- ・6/14 会派長会議
- ・6/15 一般質問
- ・6/17 議会運営委員会
- ・6/19 自民党県連総務会
- ・6/22 産業建設常任委員会
- ・6/22 ワクチン摂取
- ・6/24 予算決算常任委員会
- ・6/27 自民党第4支部総会
- ・6/29 定例会終了
- ・6/29 全員協議会



政策提言
について
詳しくは
スマホで



ふみチャンネルWeb
<https://shigaraki.jp>